令和７年　第２回香芝市教育委員会会議（２月定例）会議録

日時　　令和７年２月２１日(金)
　　午前１０時００分より
場所　　香芝市役所５階委員会室

〔出席者〕
教育長　小西　友吉
委　員（教育長職務代理者）　田中　貴治
委　員　關野　英明
委　員　中尾　茜
委　員　青木　恒夫

〔事務局〕
教育部長　福森　るり
教育部次長（教育総務課長事務取扱）　玉村　晃章
教育部次長（生涯学習課長事務取扱）　隈崎　倫夫
学校教育課長　陀安　龍也
学校支援室長　松林　和美
保健給食課長　青木　雄樹
文化財課長　奥田　昇
市民図書館長　大橋　典子

〔書記〕
教育総務課主幹　木原　健次

日程１　定足数の確認
日程２　開会の宣言

教育長　　令和７年第２回香芝市教育委員会会議を招集したところ、委員各位には公私何かとご多用のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。本会議が円滑に運営できますようご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

教育長　　それでは、出席者が定足数に達しておりますので、これより令和７年第２回定例教育委員会会議を開催いたします。
　委員並びに事務局、傍聴にお越しの皆様方に申し上げます。携帯電話の電源はお切りになるか、又はマナーモードにしてください。また、香芝市教育委員会傍聴規則第６条により、写真・録音等が禁止されていますのでよろしくお願いいたします。

日程３　署名委員の指名について

教育長　　本日の署名委員は、關野委員、青木委員にお願いしたいと思います。

日程４　諸報告について

教育長　　それでは、日程に基づきまして、日程４の諸報告として私から報告させて

いただきます。
　１月３０日（木）、令和７年第１回広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会が開催されています。香芝市長、広陵町長、両市町の教育長にて、令和７年度の予算や計画等について審議いたしました。その中で、給食材料費の値上げに伴い、月１，０００円の給食費値上げの提案が了承されました。同じくその日に、第３回学力向上の取組に対するヒアリングとして、五位堂小学校、下田小学校、真美ヶ丘東小学校のヒアリングを行いました。今年度３回目のヒアリングでございましたので、各学校の特徴ある取組、今後の取組について話を聞くことができました。
　１月３１日（金）、午前に部長会、午後に教育部会が開催されました。また、この日も第３回学力向上の取組に対するヒアリングとして、香芝西中学校、香芝北中学校、二上小学校のヒアリングを行いました。
　２月２日（日）、第４０回奈良県小学生金管バンドフェスティバルが開催され、参加させていただきました。下田小学校創立１５０周年記念事業のときに金管バンドの演奏を聞きまして、しっかりととても上手に、中学校とコラボしながら演奏しておりましたが、そのときよりもさらに上手に演奏をしており、大変よかったです。
　２月３日（月）、第３回学力向上の取組に対するヒアリングとして、三和小学校、真美ヶ丘西小学校、旭ケ丘小学校を行いました。これで、第３回学力向上の取組に対するヒアリングは全て終わりました。
　２月４日（火）、令和６年度第２回広陵町・香芝市共同中学校給食センター運営委員会を開催しています。この会議は、香芝市、広陵町の両市町の教育長、教育部長、中学校長、ＰＴＡの代表が集まり、開催しております。いつもながら、給食の残食率が話題になっておりました。過去３年間の残食率は、全体的には少なくなっているという状況でございました。ただ、残念なことに香芝市の１校については、残食率が増える状況にあったので、これは学校長に課題として持って帰ってもらい、しっかりと頑張っていただけるかなと思っております。また、先日行われました中学校給食センター協議会の中で、給食費の値上げということが話し合われましたけれども、この日は給食の実施日を増やすという提案を本市の教育部長からされ、そして、中学校の校長先生方も是非とも実施日を増やしていただきたいということで、２日間増やすことで可決されました。今後、中学校で調整を行い、次年度から給食が１６０回から１６２回に増えるということになりましたので楽しみにしております。
　２月５日（水）、香芝市立小・中学校校長会を開催しました。そして、その日の夕方、第２０回市町村対抗子ども駅伝大会 香芝市代表チーム結団式が行われ、市長とともに出席いたしました。子どもたちの精悍な姿、頑張るぞという気持ちが表れておりましたので、大会当日、とても楽しみにしております。
　２月１０日（月）、香芝市立小・中学校の教頭会を開催しました。
　２月１５日（土）、関屋幼稚園休園のつどいに行かせていただきました。地域の方々、保護者の方々も参加され、子どもたちのほのぼのとした姿が大変印象的でございました。寂しいですけれども、園児数の減少、次年度から入園する子どもがいないということで、令和７年３月３１日をもって休園いたします。
　２月１７日（月）、令和７年第１回香芝市議会 本会議が開催されました。
　２月１９日（水）、令和７年第１回香芝市議会 代表質問・一般質問が開催されました。
　２月２１日（金）、本日は「ニコニコあいさつの日」ということで、朝から私、教育部長、教育委員会事務局職員が各学校に挨拶運動に行ってまいりました。私は、真美ヶ丘西小学校に行ってまいりました。寒い中ですが、子

どもたちはとても元気よく登校していました。私はいつもカッシーと一緒に行っております。小学１年生から３年生ぐらいの子どもたちは、カッシーと触れ合い、楽しんでいる姿が印象的でございました。月に１回ほどですけれども、学校を挙げて挨拶運動していただいています。本当にうれしく思っております。私からの諸報告は以上でございます。

教育長　　ただいまの報告に対しまして、ご質問等はございませんか。
田中委員。

田中委員　　先ほど教育長の諸報告の中で金管バンドフェスティバルのお話が出ました。
私、個人的に過去４回から５回ほど観に行かせていただいています。子どもたちは、いつも夏休みに集中して、長時間、一生懸命練習してくれています。
その中で、まずは運動会のお昼前後ぐらいに、金管楽器の演奏、昔で言うところの鼓笛隊の演奏があります。いろんな校長先生や担当されている先生方とお話する機会があったんですけれども、夏休みの間に出なかった音が出るようになり、運動会に向けてみんなが同じような形で、メロディーを奏でられるようになる。その集大成がこの２月の金管フェスティバルということで、４月からの１年間の子どもたちの成長というのは相当大きなものがあるというふうに伺っています。
実際に観に行って、他市町村の学校も含めまして、いつも非常に素晴らしいなあというのが感想です。
いつまでも、こういう環境が整う香芝市であり、奈良県であって欲しいなと思います。以上です。

教育長　　ありがとうございます。ほかに何かご意見、ご質問等はございませんか。
關野委員。

關野委員　　年間の給食の回数が２回増えたということで、これは、なかなか喜ばしい事だなと思います。給食があって、昼からの時間帯も子どもたちと関わることか出来て、いろいろなことについて話し合えたらいいのかなと思います。そのように思いますのでね、回数が増えることについては、これで結構かなと思います。
先日、近所の中学校の生徒が早くに下校して、「３時まで家から出たらあかんねんて。」と、そういうふうに言っておりました。だけど、子どもは３時からだったら出てもいいよと言っても、言うことを聞きません。結局、２時ごろに「友達と遊びに行くねん。」と出ていきました。ですから、できるだけ学校に居て、教師と関わりを持っていろいろな話ができるというのは大事なことだと思います。本当に、２回でも増えたというのは結構なことと思っています。以上です。

教育長　　ありがとうございます。給食について何か教育部の方からございませんか。
教育部長。

教育部長　　給食の回数につきましては、先ほど教育長から報告ございましたように、広陵町・香芝市共同中学校給食センター運営委員会の中で私のほうから提案させていただきました。
給食が子どもたちの生活にどのように大切なものかということについても、全ての学校長が認識をされておられました。そういった中で、給食の回数が増えるということは、イコール保護者のご負担も実は増えるということですので、今回１，０００円の価格改定をさせていただくに当たりまして、せめて

回数だけはということで、２回増やしていただくことになりました。そこも含めて、先ほど關野委員からもありましたように、この機会を学校運営につなげていただけるよう、校長先生方にもお伝えしたいと考えております。以上です。

教育長　　ほかにご意見等はございませんか。
青木委員。

青木委員　　前回の教育委員会会議でもお話させていただきましたけれども、学力向上の取組に対するヒアリングが今回１月の終わりから２月にかけて行われており、なかなかこれは県内の市町村の中でも特筆すべきことと思っております。学校長のリーダーシップのもとに、子どもの課題を解決していくということは、とても大切なことであって、まして学力に関しては「とりあえず学校へ来られたらいいよ。元気でいいよ。」それは大事なことですけれども「よくわかる。」とか、そういったことが大切だと思っております。わかるためにどのような工夫がされているかということ、教育長が自ら聞いておられるということで、今回のヒアリングにおきまして特筆すべきこと、こういうことをやって課題解決に結びついたというような例がありましたら、教えていただけたらと思います。
それともう１点、給食の残食というのはなかなか大きな課題だと思うんですけれども、残食が減少したということにおきましては、何かしらの努力があったように思うんです。どのような努力があったのか教えていただけたらと思っております。以上２点、お願いいたします。

教育長　　学校支援室長。

学校支援室長　　学力の基礎になるのが、どういう力であるのか、また、香芝市内の小中学生のどういう部分をもう少し鍛えていかなくてはいけないのかということについては、全国学力・学習状況調査の結果をもって、どの学校もつぶさに分析をしております。
その中で、やはり問題をしっかり読めていないというところ、難しい問題になると回答率が下がっているのではないかというところに着目し、読解力を向上させていこうという取組をしている学校がございました。読解力と申しましても、すぐに身につくものではございませんので、地道な読書活動の推進でありますとか、また、朝の学習の時間において視写を実施し、新聞やいろいろな字を書き写すということで、良文を知るというような取組をしている学校がございました。継続して取り組んでいくということですので、その成果を見守っていきたいと思っております。
また、香芝北中学校におかれましては、子どもたちに対して読書に関するアンケートをとっておられて、分析をされておられました。朝の読書の時間に本を読むことで、後の学校生活に落ち着いて臨めるといったようなことが子どもたちの声から聞かれてきたので、落ち着いて学校生活を送るということについては、一定成果が出ているということが見受けられると思いました。
このように、その学力の基礎になる読解力を磨くということと書くということについて、どの学校も広く取り組んでいるところでございます。
すぐに成果が出るものではないので、我々も取組の成果を時期を長くとってみながら、見取っていかなくてはいけない部分であるかなと思ってございます。以上でございます。

教育長　　保健給食課長。

保健給食課長　　私からは残食率を下げるための取組を幾つか紹介させていただきます。まず、香芝北中学校におきましては、給食だよりに校長先生自らが「残食を減らそう。」であるとか、「食べよう。」というようなコメントを定期的に載せることによりまして、周知・啓発を図ってございます。また、生徒自らが給食に使う物資を選ぶ「物資選定委員会」というのを開いておりまして、生徒が自主的にそういった取組に関わることにより、給食に興味を持ち、残食率を減らすことに繋がったと考えてございます。以上でございます。

教育長　　ほかに質問等はございませんか。

教育長　　ご質問等がないようですので、日程５に進めたいと思います。

日程５（１）　承第２号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について」

教育長　　案件（１）承第２号「香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について」でございますけれども、まだ公開されていない内容を含んでおりますので、秘密会として審議したいと思いますが、ご異議ございませんか。

各委員　　〔「異議なし」との声あり〕

教育長　　ご異議がないようですので、この案件（１）の審議は秘密会とさせていただきます。

教育長　　傍聴人の方はご退席いただきますようお願いいたします。

教育長　　暫時休憩いたします。

（　非公開部分　）

教育長　　休憩を解き、再開いたします。

追加案件（１）　議第３号「香芝市学校施設の再編等に関する基本方針の廃止について」

教育長　　本日、追加議案が提出されておりますが、ここでこの案件を日程に追加し、審議することにご異議ございませんか。

各委員　　〔「異議なし」との声あり〕

教育長　　ご異議がないようですので、議案を追加し、審議することといたします。

教育長　　追加案件（１）議第３号「香芝市学校施設の再編等に関する基本方針の廃止について」を事務局より説明をお願いします。
　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　議第３号「香芝市学校施設の再編等に関する基本方針の廃止について」の提案理由を説明させていただきます。
　本案は、令和５年２月１５日の第２回教育委員会会議におきまして議決いただきました香芝市学校施設の再編等に関する基本方針について、廃止を行

うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２５条第１項第１号の規定によりお諮りするものでございます。
　廃止理由といたしましては、現在香芝市望ましい学校環境検討委員会におきまして、検討を行っていただいていること、現在開会中の香芝市議会３月定例会においても、基本方針の見直しについての検討が必要となったことから廃止を行うものでございます。
　何とぞ慎重ご審議の上、原案可決賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上です。

教育長　　ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございますか。
　田中委員。

田中委員　　まずこの基本方針の位置付けという根本的な部分を少し再確認したいと思います。
　ホームページにも上げてあったと思うんですけれども、もともとある長寿命化計画の見直しのための方針であったと思うんです。そこら辺のところをもう一度詳しくご説明願えたらなと思います。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　基本方針の位置付けでございます。「香芝市学校施設の再編等に関する基本方針」につきましては、令和５年２月の教育委員会会議において議決いただいたものでございます。内容として、経済性や人口予測などの観点から、令和２年３月に策定した「香芝市学校施設等長寿命化計画」について、中身を見直すための基本的な方針として作成させていただいたものでございます。

教育長　　よろしいでしょうか。

教育長　　ほかにご意見、ご質問等はございませんか。
　青木委員。

青木委員　　「香芝市学校施設等長寿化計画」の中の一つとしての基本的な方針であったというように伺ったわけなんですけれども、今、なぜこの時期に廃止なのか、この経緯が何かありましたら教えていただきたいと思います。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　今回廃止をお諮りいたしますのは、今年度より教育委員会の諮問機関である「香芝市望ましい学校環境検討委員会」におきまして、委員の皆様に協議をいただいてございます。学識経験者や地域の代表の皆様の熟議を経て、地域の意向を反映した形で再編等に関しまして答申をいただき、新たな方向性に基づきまして、改めて長寿命化計画を見直していく必要がありますことから、基本方針の廃止をお諮りするものでございます。

教育長　　よろしいでしょうか。

教育長　　ほかにご意見、ご質問等はございませんか。
　關野委員。

關野委員　　あくまでも学校施設の長寿命化計画が土台にある。そして、それを考えていく中で、今のような学校施設の再編という一つの方針について検討委員会

で検討してくださいということでしたが、今後はそういう縛り的なものをなくして、検討委員会で改めて学校の適正規模や方法についてしっかり考えていただいく、そう解釈していいのでしょうか。
　廃止に至った流れというのは、今のような考えでいいですか。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　今、おっしゃっていただいたとおりでございます。

教育長　　ほかにご意見、ご質問等はございませんか。
　田中委員。

田中委員　　この計画そのものをホームページに掲載したことで、この予期せぬ議論といいますか、いろいろなことが反応としてありました。これを廃止するという方向になった場合に周知等はどういう形でされる予定でしょうか。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　議決をいただきましたら、現在公式ホームページに公開中の基本方針を廃止し、内容を修正する予定でございます。
　今後、望ましい学校環境検討委員会の協議におきまして、地域住民や保護者、学校関係者の意向を反映した新たな方向性を示していただく予定である旨、市民の皆様への広報・周知に努めてまいりたいと考えてございます。

教育長　　關野委員。

關野委員　　新たに検討していくということですけれども、時間をかけていると校舎等が老朽化していきます。早いうちに子どもたちにとって安全で安心できる教育環境を整える必要があると思うんです。だから、何かしら目途を立て、新たな方針が出てくると考えていいですか。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　今後の予定でございますが、我々も事務局として一緒に協議に加わっているわけですけれども、あくまでも委員さんに決めていただくことでございまして、今からあと何回ということは申し上げられませんが、令和７年度末までに、検討委員会からの答申をいただきたいと考えてございます。

教育長　　よろしいでしょうか。

教育長　　田中委員。

田中委員　　検討委員会さんのほうでいろいろご議論いただいていると思います。その中で「市民の意向の反映」という部分について少しご説明願えたらなと思います。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　現在、望ましい学校環境検討委員会の皆様には、国の示す学校教育の方針に基づきまして、教育の機会均等等を念頭に香芝市の子どもたちにとってよりよい望ましい教育環境と、その基準づくりを進めていただいているところ

でございます。検討委員会には、地域の代表の方、学識経験者の方に参画いただいておりまして、複数の委員から広く地域住民や学校関係者、保護者の皆様の意向を反映した形で協議を進めていくべきであるというご意見を賜ってございます。どのような意向を確認し、どう反映していくのかという具体的な内容につきましては、今後の協議の中で決定していくような段階、状況でございます。

教育長　　検討委員会の中でも、広く市民の声を聞きたいということを考えられているということでよろしいでしょうか。

教育長　　ほかにご意見等はございませんか。
青木委員。

青木委員　　意見ではなく、お願いといったような形が望ましいかなと思っているんですけれども、こういったことを問題にしていくと、非常に一般の市民の感覚からしたら、本当にこれどうなっていくんだろうなというようなことで尾ひれはひれが付いて、非常に問題が複雑化してきたり、取り違えて受け取られるというようなことが非常に多いように思います。
一番の大事なことは、玉村教育部次長がおっしゃったように、「香芝市の子どもたちにとってよりよい望ましい教育環境とその基準づくり」というところでございますので、そのことを、ややもすると統合であるとか廃校であるかというような、非常にこれはもう取り違えの最たるものであると考えますので、そういったことのないように進めていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　ご意見ありがとうございます。今おっしゃっていただいたようなことを念頭に置きまして今後も進めてまいりたいと考えます。以上です。

教育長　　他にご意見、ご質問等はございませんか。
中尾委員。

中尾委員　　先ほど青木委員もおっしゃられたとおり、「基本方針の廃止」という言葉は、割と取り違えられやすいかなというのが一般的な感覚です。もう無くなってしまうんだという変な安心感を生むというのが一番心配かなと思っておりまして、ただ、今回のその廃止ということに関しては、この検討委員会の方で、よりこの地域の方の意見を拾い、もっと具体化していくための一つの段階だということを、わかりやすく、強調して、発信するということが大事かなと思っています。
今後、先ほどおっしゃられたように、市民の意向の反映の仕方というところで、まだどういうふうに取り入れていくかがわからないとおっしゃられていたと思うんですけれど、もしかしたら、そのメンバーが増えたりもあるかもしれないと思いますが、そのことに関してもインパクトのある言葉、「廃校」であったりとか、「統合」であったりとか、そういう言葉というのがどうしても独り歩きしてしまうので、目的が長寿命化計画にあるということと、そこに向かうための廃止だということをわかりやすく伝えることが必要かなと感じました。以上です。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　ご意見ありがとうございます。今後も基本方針を発信した時のようなことがないように、今、おっしゃっていただいたことをうまく市民に伝えられるように周知に努めてまいりたいと考えます。以上です。

教育長　　教育部長。

教育部長　　今、玉村教育部次長が申しましたとおりでございます。少し補足になりますけれども、中尾委員がおっしゃったように、まず、これは新しいものをつくり出すための一つの工程として、一旦、今あるものを廃止させていただくと。新しい基準ができましたら、私どもも一番必要であると考えておりますのは、香芝市の学校施設の長寿命化計画を適正に進めていく。そこには、子どもたちの教育環境をどうしたらいいか、どうしていくのが本来であるのか、望ましい学校環境はどういったものなのかということを、しっかりと地域住民の方や、学校関係者の方々の、もちろん保護者も含めて、そういった意向をしっかりと盛り込んだものでなければならないという思いで、一旦はこの基本方針については廃止をさせていただくわけですけれども、一つの過程として新たなものを生み出していかないといけないと。そして、關野委員からもございましたように、待ったなしの施設整備がございます。かなり老朽化が進んでおりますので、そういった中で、できるだけ早く、基本方針に替わるものを取りまとめてまいりまして、新たな長寿命化計画に反映させていくということを、ここで申し上げておきたいと思います。

そして、もう一つですけれども、この基本方針は市議会の議決をいただいております。改めて法的な観点で確認いたしましたところ、香芝市の公共施設の総合管理計画という香芝市全体の公共施設を管理する計画がございます。その下部に位置するこの学校施設長寿命化計画という観点から議決はそもそもいらなかったのではないかというようなご意見を法制部局からいただいております。まずは、ここを教育委員会会議で皆様方のご了解をいただいたのちは、法的な対応を確認した上で、議決に諮るかどうかの判断を市長部局とともにした上で対応してまいりたいと考えております。以上です。

教育長　　ほかにございませんか。

田中委員。

田中委員　　今回の基本方針ですけれども、もともと香芝市の学校施設の長寿命化計画として、施設の寿命を５０年から８０年にする。それからトイレの改修など、いろいろなものが盛りだくさんあって、今ある学校の施設をすべて生かす形での計画だったと思います。

香芝市であれば、おそらく２０３５年ぐらいまで児童生徒数が増えるんじゃないかなというような、過去、そのような数字が出ていたときもあったと思います。それが、そこまで児童生徒数が伸びない、後になって刻々といろんな状況が変わってきていると思います。

それと、昔であったら親子三世代、香芝市内でそのまま住まれて、新宅を作られるとかいうような状況が多かったと思います。けれども、香芝だけの問題ではなく、この世代が本当に香芝に住むのかということを考えたときに、おそらく日本全国で、ゼロサムゲームで、例えば、一部の市町村が手当を厚くすると近隣の市町村からそこに行ってしまう。そうすると、近隣の市町村が結果として学校の何を基準にするかは別ですが、適正規模という部分では非常に難しいことになっていくと。実際にこういうようなことが近畿圏内で起こっている市もあります。確かに新たな居住者を増やすという方策は一つの手段としてはあるだろうと思いますけれども、これもやってみなければわからないという部分です。

非常に懸念されるのは、例えば一部の地域で開発をして、仮に児童・生徒数が増えた、学校が非常に手狭になった。だから、新たに投資して教室を増築するのか。そうすると、おそらく１５年もすれば、またその投資というのが、言い方悪いんですけれども無駄になってしまうというようなことも起こりうることだと思います。

未来永劫に一定数が確保できて、絶対減らない確証があるのであれば、いろんな計画は作っていけると、でも先ほども言いましたように、２０３５年ぐらいまで増えると言っていたが、２０年代後半には、頭打ちするだろうというふうに、それだけでも随分７年ぐらい前倒しになっていますから、未来予測なので、開発をしない限り住宅は絶対増えませんから、そういう部分から考えたときに、冷静な形で、今の長寿命化計画をベースに置いた形の新しい形の計画というものを教育委員会として提示させていただいた経緯があると。あくまでも、このことに関しても、見直しのための計画期間という形で、もともと提示させていただきましたから、決してこれをそのまま、現実にこのまま実施するという話ではなかったんですけれども、その部分に関してもきっちりホームページでは出させていただいていたはずなんですが、ここの期間のところに「計画期間は」となっているところを抜きにして、いかにもⅠ期の令和５年から令和９年、Ⅱ期の令和１０年から令和１４年、この間に、この計画を実施するというふうな捉え方を、一部の方がされたのも事実だと思います。

あくまでも、ここに書いてある中では、見直しの背景があり、計画があり、目標としても、中学校区の中で小学校の適正配置と、小中一貫校や義務教育学校も想定する。また、必要であれば統廃合。以前から言っているように私自身は、この統廃合の「廃」というのがとっても嫌なんです。もともといくつかの学校があって、住宅地開発に伴って、新しい学校を作ることになった。要するに、一つの学校が二つに分かれたと私の認識ではおります。そういう部分で統合することはあるけれども、無くすことにはならないと思うんです。県立高校でもそうだと思います。名前は統廃合となっていますが、全てのものはきちんと次の学校に一旦引き継がれているはずです。

その中の目標の一つとして、小中学校を適正規模校にしたいという思いが教育委員会としてはあって、この見直し計画のこの提言っていうのは前回させていただいたと思います。

今回、いろいろなことがあって廃止するというご提案をいただいています。確かに、誤解を招く部分も、ある意味あったかもわかりません。例えば、見直しのための背景と趣旨という部分で、いくつかの小規模校の名前を挙げました。ただし、逆に言うと具体例を挙げないで、計画の案だけを出したら、明らかにこれはもうステルスと言われてしまいます。教育委員会としては、そういう部分では、積極的に必要な情報というのは開示する必要があったんではなかろうか。そういう意味では、やはり３つの学校の名前が、具体例として挙げざるをえなかったというふうに私自身は思います。

もともと香芝市の学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）というこういう名前のものに、人口予測なり、それから事務局の方で作っていただいた児童生徒のプロットにおける、子どもたちの住居、それから、やはり県の防災の部分で土砂災害警戒区域の指定があったりとか、そういうふうなものをいろいろ盛り込んだ形の部分で、これを一つの計画として出して、本年新たに香芝市望ましい学校環境検討委員会というものを作り、そこに地域住民の方、有識者の方、教育関係の方、行政の方、参加していただいて、いろんな議論をしていただくことで、長寿命化計画の中に適正規模なりの部分を加味したいという最大の思いが、少し捉え方の点で、こちらの落ち度が全くないとは言いませんが、そういうものがあって、なかなかうまくいかなかった部分があると思います。とはいえ、検討委員会そのものはこれからも続いていくで

しょうし、この学校施設の長寿命化計画をベースに、検討委員会のところで諮問いただくという意味では半分以上達成はできているんじゃないかなと思います。
　お時間いただきまして、すいません。今後の検討委員会の予定でありますとか、また答申が出てきた場合の進め方について、現時点で教育部の方で考えておられることを少しご説明願えたらなと思います。

教育長　　玉村教育部次長。

玉村教育部次長　　次回検討委員会でございますが、第４回は３月の開催を予定してございます。
　進め方についてでございますが、検討委員会から答申をいただきましたら、答申に基づきまして、学校施設等長寿命化計画の見直しを実施してまいりたいと考えてございます。
　教育委員会からの諮問内容としましては、今後の人口推移や地域の実情等を反映し、将来にわたって全校が適正規模となるよう学校再編の基準作成及び各施設の整備時期、要否等、香芝市の学校環境の望ましい在り方について具体化していく必要がございます。委員の皆様にご意見を求めているものでございまして、諮問に対する検討委員会からの答申を基に、香芝市総合計画等、市全体の施策とも連携しながら、望ましい教育環境を実現してまいりたい、長寿命化計画を見直してまいりたいと考えてございます。以上です。

教育長　　よろしいでしょうか。

教育長　　田中委員。

田中委員　　先ほど次長の方から説明ありましたように、あくまでも国の示す学校教育の方針に基づいて教育委員会としてはいろいろな計画を策定していくというのが大前提であると思います。
　個別のことで、特色のある教育であるとか、当然そういうことも必要ではあるとは思いますけれども、まず基本的には、マスの部分で充実を図っていかなければならないというふうに個人的には思っています。
　決して、今出させていただいた計画について、国の示す学校教育の方針とは乖離はないものと私自身思っております。
　これは将来的に、一部の地域の問題というものではなく、現状４つの中学校があって、その校区内でどういう形のものが一番適切かという部分の集大成が香芝市としての大きい計画だと思います。
　そういう意味では、今関わっておられる方、過去に関わっておられた方だけではなく、将来のことでありますとか、以前自分がそうであったという方も含めて、市民皆さんでいろんな意見を出していただけると非常にありがたいかなと思います。
　そういうことで、まずは検討委員会の提言をいただくこと。また、それに伴って、一旦仮にこれを廃止するということになったとしましても、また新たな計画を早期に策定していかないと、すでに８０年という耐久の中で古い小学校でしたらもうすでに５５年経っております。これも私、委員会の中で何度も申します、仮に、今回、出させていただいた計画でいきますと、おそらく後７年ぐらいとなってきましたら、もう２０年を切るこのタイミングとしては、現状で考えたときに、学校用地の中で建替えの利く学校もあれば、難しかろうという学校もあります。そうなりますと、やはり地域の皆さんにご協力いただいて、新たな用地選定のところから入ることになりましたら、これは、なかなか進むものではないと。これが昔でしたら、まだ田んぼがた

くさんありましたけれども、これから人口を増やすための開発をするとなれば、なかなか用地の確保も難しかろうと思います。
今一度、市民の皆さんに関心を持っていただいて、少し冷静にご議論いただければ非常にありがたいというふうに思います。以上です。

教育長　　答申を受けてからのことについても、事務局より説明ありましたが、ほかにご意見、ご質問等はございませんか。
關野委員。

關野委員　　長寿命化計画が土台にあって、再編というのが出てきたんですけれども、何か編成の方ばかりに目がいってしまって、本来の目的が何か失われているような気がするんです。
ここで、今の編成の方針をなくすことによって、検討委員会の中で香芝の望ましい教育環境とは何だろうと、これは街の中にある場合、また田園地帯の場合と、それによって望ましい教育環境というのは変わってくるかもしれません。それを一生懸命考えてもらう。また、学校としてどれくらいが適正規模なんだろうと、また、クラス人数はどうなんだろうと。本当にね、いろいろと意見を言いながら考えてもらったら、私、それがいいと思うんです。
本当にクラスの単位として行動活動ができるか。５人、６人ぐらいの数はできません。だから、どのくらいが適正なのか。文化祭もあれば運動会もある。いろいろな部分で、いろいろなところで、子どもが活躍できる、そして、自分を発揮できる、成長していく。そういうことも考えていくことも大事かなと、そういうふうに思います。
先ほども言いましたけれども、やっぱり老朽化が進んでいるので、早く答申が出たらいいですけれども、あんまり急ぎすぎて、見えているものが見えなくなってしまって、抜けがあったら大変ですので、じっくり考えてもらって、状況を見ながら、また子どもたちの人格形成のためにどういうふうにしたらいいかということを、ゆっくり考えてもらったら結構かと思います。
だから、ここは本当にみんなで教育そのものについて考えるいいチャンスじゃないかと、私、そう思っています。以上です。

教育長　　田中委員。

田中委員　　先ほどもう一つお話したいと思いながら、失念しておりました。もともと香芝市学校施設等長寿命化計画の策定の時に、私、もう一つ違う観点で実はお話させていただいたことがあります。といいますのが、五位堂小学校、下田小学校、二上小学校、志都美小学校、ちょうど私が小学校に入ってほどなく、ここら辺の小学校が同時に建設されています。関屋小学校はそこから２年か３年遅れて確か建設されたと思います。となりますと、この５校がほぼ同時期に建替なりなんなりということが起こってしまいます。商売をやっていますと、長寿命化計画を策定する時に資金繰りというものを考えます。そう考えたときに、あえてこれをずらしていく方向で、５０年を８０年に延ばすのは構いませんが、場合によれば６５年目で建て替えるというようなことも、計画としては必要ではないのかなと。国からの補助金があるとはいえ、いっときに教育に関する予算を確保できるのかという懸念と、そうなってきたときに、やはりこの景気の悪い中で起債されるのか、そこら辺は市のことですので、私自身はわからないんですけれども、そういう観点でも、この計画というものの中にはめ込んでいく必要があるんじゃないかなということもお話させていただいていました。
そういう部分で、いろいろな方にいろいろなお知恵を拝借すれば、また新たな案であるとか、何かブレイクスルーできるようなこともあるかもわかり

ませんので、そういう意味でもいろいろなご意見をお聞かせ願えたら非常にありがたいなと思います。以上です。

教育長　　教育部長。

教育部長　　本当にたくさんのご意見いただいて、ありがたく考えてございます。香芝市の学校施設等長寿命化計画を策定いたしましたときに、当時、私、教育部長をしておりまして、この計画がなければ、なかなか国からの補助金をいただけなかったというところで、やはり先ほど田中委員からもございましたように、子どもたちにとって香芝市のどの場所にあっても、本当に良い学習環境を均等に提供していかなければならないという使命が私達にはございます。

そのためには、この香芝市の子どもたちの様子、分布も含めまして見た中で、本当に今の方向でいいのかということについては、もちろんこの当時から考えていたわけでございますけれども、基本方針ができた際に、そのプロセスをなかなか市民の方がご存知なくて、残念ながら政治的にいろいろな反響がございまして、私どもも大変苦労いたしました。

そういう意図で作ったものでなかったのに、やはり一部分だけが独り歩きしたという反省もございまして、望ましい学校環境検討委員会の中では、どういう学校が望ましいのか、どういう施設が子どもたちにとって必要なのかということを、丁寧に手順を追って今議論していただいて、公開で運営いたしております。議事録も含めて、丁寧に公開させていただいております。

そのプロセスが前回は残念ながら十分でなかったから誤解を生んだのかなというふうな反省も踏まえまして、今度この長寿命化計画を見直す際には、新しい手順を追って公開で皆さんにご審議いただいたこの答申を踏まえて、長寿命化計画に基づいて、子どもたちによりよい教育環境を提供していく使命を果たすためにも、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

今日いただいたご意見も、本当に一つ一つ、私達、反省をしながらお伺いしておりました。次回同じ過ちを繰り返さないように、しっかりと誤解のないようなプロセスを経て、取り組んでいくことをここで申し上げておきたいと思います。以上です。

教育長　　長時間、この追加案件について考えていただき、ありがとうございます。今、委員会で諮ったことやいただいたご意見を検討委員会の方でさらに深めていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育長　　ほかにご意見、ご質問等はございませんか。

教育長　　本案につきまして、ご異議はないでしょうか。

各委員　　〔「異議なし」との声あり〕

教育長　　ご異議がないようですので、原案のとおり可決することといたします。

日程（２）　その他

教育長　　案件（２）その他として、各課より報告があればお願いいたします。
学校教育課長。

学校教育課長　　中学校の地域クラブ活動に関して報告させていただきます。令和８年度の地域クラブ活動開始に向け、３月３日に児童生徒、保護者、教職員を対象と

して、オンライン説明会を開催します。地域クラブの概要やスケジュールについて説明することを予定しています。質問受付フォームも用意しておりますので、説明会の中で回答するほか、ホームページにおいて公開中のＱ＆Ａに追記する形でご質問に答えて参ります。今後も香芝市の中学生が多様なスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができるよう、準備を進めてまいります。以上です。

教育長　　今、中学校の部活動についての報告していただきましたけれども、特にご意見等ございませんか。

教育長　　よろしいですか。

教育長　　オンライン説明会ということで、また一歩前へ進めるかなと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

教育長　　他に報告等はございませんか。

教育長　　それでは、本日の案件は全て終了いたしました。これをもちまして、令和７年第２回教育委員会会議を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、慎重審議ありがとうございました。以上で散会いたします。

（　午前１１時４７分　終了　）